

合格体験記

氏名：N.U.

[合格した自治体(校種・教科)]

堺市 (中学校・数学)

Q 採用試験に向けて...

①いつから勉強しましたか

2010年の4月頃からです。

②どのような教材を使っていましたか

- ・教職教養は教員養成セミナーのふろくにくっつけているカードを繰り返し読みました
- ・時事通信社の一般教養[30日完成]
- ・大阪府・大阪市・堺市 専門教養 中学数学 過去問5年分
- ・時事通信社の教員養成セミナー

③勉強方法

バスに乗っているときに教員養成セミナーを読んでいた。
一般教養の本の重要語句をノートにまとめました。教職教養は重要語句をカードにまとめました。
専門教養は、過去問を繰り返し解きました。

④一日何時間勉強しましたか

常勤講師として勤務していたので、1時間 ～ 1時間半ぐらい

⑤どこの自治体を受けてどのような対策をしましたか

堺市一本でしか受験しなかったなので、やっていません。

⑥二次対策はどうしていましたか(実技・専門・模擬授業)

堺市は、1次・2次の区別はなく、全ての試験を受けて、合否が決まります。

⑦あなたにとって教職ナビとはどのようなものですか

教員を志す仲間と出会い、他の学部生や他教科の仲間と出会えたこと。在学中、大学で勉強していたら話とかできるし、実際に試験の時とかも心強かったです。卒業後も仲間がいている気持ちでいたことが心強く、入って良かったと思いました。「この仲間は、一生の宝」

⑧ゼミ(授業)と教員採用試験との兼ね合いはどうしていましたか

ゼミは講義を中心に研究して、採用試験までは、採用試験の勉強を優先しました。

⑨バイトやボランティアはどうしていましたか

郵便局のバイトをしました。

ボランティアでは、母校高校のスクールインターンシップの3ヶ月間し、母校中学校サッカー部の外部指導4年間継続し続けました。また、母校中学校の生徒指導アシスタントを7ヶ月間しました。

さらに、堺・教師ゆめ塾で2年間講義を受けました。

⑩挫けそうになったときどうしていましたか

同僚と飲み会に行ったり、カラオケ行ったりして、たくさん人と話しました。

仲間がいることで、のりこえられたと思います。

⑪大学生活中にやっておいたらしいこと

特別なことをするばかりではなく、いろいろな人とたくさん話をしておくといいと思います

ボランティアに参加して、先生方にいろいろ話してもらいましょう。

Q これからどのような先生になりたいですか

卒業後も生徒が学校に遊びに先生に会いに行きたいと思えるような先生になりたいです。

Q これから教員採用試験を受ける方へのメッセージ

面接対策は、学生の際は、毎回の面接練習に顔を出しました。卒業後は、練習回数は学生のとくに比べ減りました。

ただ、今振り返ると、学生のときは、勉強したことだけをそのまま言っていただけのような気がします。

そこで、自分の教師としての考えを面接ノートに箇条書きにしてまとめました。

また、試験前日の同僚のアドバイスで「自然体でいったほうがいいよ、おれも構えすぎて、失敗した経験があるからな」と言ってもらい、当日は、肩の力を抜いて面接を受けました。

私の場合、卒業後は、同僚とのコミュニケーションを図り、アドバイスや同僚の評価に耳を傾け、同僚から言ってもらった長所を基盤にして、自己PRをしました。日頃から、人と話をすることを心がけました。

1人では挫折してしまいそうなことも、仲間がいることで乗り越えられました。面接本番は、気負わず、普段の自分を出してみてください。面接官に語りかけるように、自分のことを言ってみてください。教師をスタートするための合格を勝ち取り、是非、一緒に(堺市で)働きましょう。